

森 啓氏 講演会

戦後日本の文化政策と「文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム」

日 時: 2007年11月15日(木) 13:30-15:30

会 場: 東京大学本郷キャンパス法文1号館2F 216教室

*法文1号館地図のリンク

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_01_01_j.html

定 員: 20名(事前申し込み)

申込先: l1077103@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp (担当: 中村)

*担当が非常勤のため、ご返信にお時間を頂く場合がございます

*本講演は授業の一環で行うため、定員を設け事前申し込み制とさせていただきます。

本講演では、森啓氏に90年代以降の日本の文化政策の課題、これからの展望を「文化の見えるまちづくりフォーラム」という事例をもとにお話していただきます。「文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム」は1991年から2003年まで全10回、全国の自治体持ち回りで開催され、各地から行政や企業、芸術団体関係者が集まり、白熱した議論が交わされました。

このフォーラムを牽引してきた森氏に、なぜこのようなフォーラムを開催する必要があったのか、そしてそこでは何が目指されたのかをうかがいます。当時の取り組みに対する評価を通して、今後の文化政策の課題と展望を考える貴重な機会に、ぜひお越しください。

森 啓 (北海学園大学法学部政治学科教授)

徳島県生まれ。

1960年中央大学法学部法律学科卒業。神奈川県庁に入る。文化室主幹、自治総合研究センター研究部長、埋蔵文化財センター所長を歴任。1993年3月退職。1993～1998年北海道大学法学部教授(公共政策論)。

1995～1999年北海道自治学会代表運営委員。現在、北海学園大学法学部教授(自治体政策論)、日本自治体学会運営委員(2002年～)、日本聞き書き学会副会長(2002年～)

主 催: 東京大学大学院人文社会系研究科

文化資源学研究専攻特殊研究「戦後日本の文化政策を検証する」

共 催: 日本学術振興会平成19年度人文・社会科学振興プロジェクト領域V

「都市政策の課題と芸術文化の役割」 <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/CulturalPolicy/>